

日本褥瘡学会誌投稿規定

1. 投稿者の資格ならびに条件

- 1) 著者は7名以内とし、すべて日本褥瘡学会正会員に限る。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。また、全著者が論文内容について異議のないことを確認すること。
- 2) 写真・画像等の掲載にあたっては、個人を特定できないよう留意すること。
- 3) 論文は他誌に未発表のもので、かつ他の著作権を侵害しないものに限る。ただし、他誌に発表されたものであっても、異なる言語で書かれた論文であるなど一定の要件を満たし、編集委員会が認めたものについては例外として二次掲載として認める。
- 4) 論文の著作権は日本褥瘡学会に帰属するものとする。本誌掲載論文の図表を転載する場合は、出典を明示の上、学会に転載許諾を申請すること。変更する場合は著者にも許諾を得ること。
- 5) 本誌に掲載された著作物は電子化およびインターネット上で公開されるものとする。
- 6) 利益相反

著者全員について、企業等との利害関係の有無（利益相反）を本文末に明記し、筆頭著者が代表して別紙「利益相反に関する開示書」に署名し投稿の際に提出すること。なお、利益相反があるという事だけで論文掲載が拒絶されることは無い。

記載例) 利益相反 なし。

利益相反 あり。本試験に使用した機材△は株式会社〇〇から提供を受けた。

※利益相反がある場合は企業・団体名も記載すること。

2. 倫理規定

すべての論文は日本褥瘡学会倫理規定 (<http://www.jspu.org/jpn/about/pdf/ethics2.pdf>) に準拠したものでなければならない。

人および動物を対象とした研究の論文では、所属機関の倫理委員会の承認を受けた研究であることを明記すること。投稿時に倫理委員会の承認が得られていない場合、投稿を受け付けない。なお、症例報告は倫理委員会の承認を不要とするが、個人情報保護に関する対応については明記すること。

*所属機関に倫理委員会が無い場合は、早急に倫理委員会を設置するか、関連の施設や著者の所属する職能団体（医師会、看護協会、薬剤師会など）の倫理審査制度を利用して審査を受けること。投稿の時点で倫理承認がなければ論文受付は不可とする。

3. 論文の種類

論文の種類は総説、原著、報告（研究、実践、症例）、治験、その他（工夫・アイデア、私見、印象記、統計・資料等）、Letter to the Editor の投稿区分に分類し、表題の前に明記すること。

“Letter to the Editor” は既載の論文に対する質疑およびその他、会員の自由な意見交換を主とする。文字数は図表

を含めて1200字以内とする（図表は1枚が360字に相当する）。要旨・キーワードは不要。

4. 論文の採否、修正

受付けた原稿の採否、順序は編集委員会で決定し、必要であれば書き換え、修正を求める。あるいは委員会において字句の修正をすることがある。受理した原稿は原則として返却しない。

5. 原稿

- 1) 論文情報には、論文種類、題名、著者名、所属機関名、キーワード（5つ以内）を和文および英文で入力する。また、ランニングタイトル（25字以内）、別冊送付先および別冊希望数を入力する。
- 2) 論文データは、表紙、和文要旨（400字以内）、英文要旨（総説、原著、報告は200語以内の英文要旨を必須とする）、本文、文献、図表の説明の順に整える。なお、論文の末尾に利益相反の有無を明記する。
- 3) 本文は24字×30行（A4縦）とし、Microsoft Wordで作成する（その他のソフトウェアは不可）。表記は横書きとし、「である調」の文体とする。
- 4) 表紙には、論文種類、題名、著者名、所属機関名、キーワード（5つ以内）を和文および英文で明記する。
- 5) 数字はアラビア数字を使い、度量衡の単位はm, cm, mm, μ g, day, h, min, l, dl, ml などとする。
- 6) 図表はMicrosoft PowerPoint, Microsoft Word, Microsoft Excelなどのソフトウェアで作成し、1ファイルにまとめる。順番は本文挿入順とする。写真を掲載する場合には、本人のプライバシーを十分に尊重する。また、他の論文や書籍から図表を転載する場合は、出典を明示し、著作権者の許諾を得ること。
- 7) 外国人名、地名、薬品名および和訳し難い用語以外は日本語を用いる。年号は西暦に統一する。
- 8) 商品名は原則として一般名を用いる。商品名を用いる場合は、初出の際に「一般名（商品名）」で示す。

6. 文献

- 1) 文献は必要最小限とし、出典順に番号を付し、本文中の引用個所に肩番号をつける。
- 2) 著者が3名以上の場合は始めの3人までを書き、あとは「ほか」または「et al」を付け加える。
- 3) 文献の書き方は以下を参考とする。
 - a. 雑誌の場合は、著者名：論文の表題、雑誌名、巻（号）：初頁-終頁、西暦年号。
(例) 大浦武彦：寝たきり高齢者における褥瘡危険要因－体圧分散マットレスの重要性の検証－, 褥瘡会誌, 5(3) : 459-471, 2003.
(例) Langemo DK, Melland H, Hanson D, et al : The lived experience of having a pressure ulcer : a qualitative analysis. Adv Skin Wound Care, 13

(5) : 225-235, 2000.

b. 単行本, 分担執筆の場合は, 著者名: 題名, 書名 (編集者), 頁, 発行社, 発行地, 発行西暦年号.

(例) 真田弘美: 褥瘡の予防. 褥瘡の予防・治療ガイドライン (厚生省老人保健福祉局老人保健課監修, 宮地良樹 編集), 8-36, 照林社, 東京, 1998.

(例) Harding CR, Bartolone J, Rawlings AV: Effects of moisturizing factor and lactic acid isomers on skin function. In: Loden M, Maibach HI, eds. Dry Skin and Moisturizers: Chemistry and Function. 229-241, CRC Press, New York, 2000.

なお, 雑誌略名は引用した雑誌に記載されている略名を使用すること。不明な場合には, 邦文誌は医学中央雑誌, 欧文誌では Index Medicus に従うこと。なお, 学術集会抄録集は文献と認めない。

c. ウェブサイトの場合は, web サイト名: 記事タイトル. [URL], 検索年月日.

(例) 日本褥瘡学会: 褥瘡と褥創について. [http://www.jspu.org/jpn/info/sou.html], 2011/10/01.

7. 図・表

図・写真の最低解像度は1つあたり300 dpi とする。また, 図表ファイルの容量は10 MB までを目安に作成する。

図, 表, 写真の説明は和文とし, 説明文の記入位置は, 図・写真は下部, 表は上部とする。なお, 図表の大きさで特に指定を要する場合は編集事務局まで連絡する。

8. 掲載に関わる費用

- 1) 掲載論文は, 8 ページまでは無料とし, それを超過した場合, 著者は1 ページにつき20,000 円を負担する。なお, 印刷1 ページは原稿用紙では3 枚, 図表 (片段1/3) では6 枚がそれぞれ相当する。
- 2) 別冊は6 ページ, 30 部までを無料とし, それ以上は著者負担とする。
- 3) 印刷に特に費用を要するもの (カラー写真など) は実費著者負担とする。ただし編集委員会が認めた場合はその限りではない。

4) **特急査読**は投稿時に30,000 円を学会に納入し, 掲載後は1 ページにつき5,000 円を負担する。別冊は8.2) 規定による。なお, 特急査読は通常の査読期間の半分を目安として行う査読とする。**治験論文**は1 ページにつき50,000 円, 別冊は全て著者負担とする。

9. 地方会后抄録

地方会の抄録は演題名・演者名を含めて400 字以内 (本文は200 字程度) とする。校正は学術集会の抄録と同様に各学術集会会長が行うものとする。

10. 投稿規定の変更

以上の投稿規定は, 変更されることがある。(最新変更は, 2018 年3 月に行った。)

11. 原稿の送り先

査読の迅速化, 経費削減のために原則的にオンライン投稿のみとします。ただし, “Letter to Editor” および地方会后抄録は郵送で下記事務局まで送ること (書留または宅急便。オンライン投稿は不可)。必ず二重封筒とする。

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号
新宿ラムダックスビル9階
(株) 春恒社内

日本褥瘡学会編集事務局宛

TEL: 03-5291-2170, FAX: 03-5272-1631

オンライン投稿にあたっては, 学会ホームページ, 個人ページ内の「論文投稿手順」を参照すること。

論文作成および投稿については以下の論文を参考のこと。
上出 良一「初めて論文を書く人のために」: 9 (4)
田中マキ子「査読者との対話 - 論文作成から推敲へ -」: 11 (2)

進藤 勝久「科学論文をスラスラ書くコツ I (研究編) - まずは, 作法を守りましょう -」: 15 (4)

進藤 勝久「科学論文をスラスラ書くコツ II (論文編) - さあ, 実際にタイプしてみよう -」: 16 (1)

また, 褥瘡に関する用語については用語集検討委員会報告を参照ください。学会誌および学会ウェブサイトに掲載しております。